

## 魚津市定例記者会見 3月

日時：平成28年2月29日（月） 午後1時30分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、  
富山テレビ、チューリップテレビ、NHK、NICE TV

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、産業建設部長、民生部長、  
企画政策課長

### 1. 市長からの説明事項

#### (1) 28年3月定例会

私にとっては任期中最後の定例会となる議会が明日（3/1）から始まる。最終日の17日まで、新年度の予算や事業施策の提案をさせていただくことになる。

#### (2) 国道8号魚津滑川バイパスが4車線化

昨日（2/28）、国道8号の滑川魚津バイパス4車線化の記念式典があった。江口から富山方面への4車線化が完成し、交通体系が整備された。長い工事期間があったわけだが、期間中いろんな立場で関わってきた私としては感無量のものがあった。市内でも産業などの経済活動のみならず観光などいろんな面でこの道路が威力を発揮し、市の活性化に資するものと思っている。

#### (3) 魚津駅の売店「ミラマルシェ」工事中

あいの風とやま鉄道魚津駅内の売店「ミラマルシェ」は現在工事を進めており、3月下旬にオープンの予定。駅前が少しさびしくなったという印象が少しでも改善されればと思っている。

#### (4) 台湾旅行業者による魚津市視察

前回の定例記者会見でもお話したが、台湾の旅行業者の一行が3/24から3日間、市内で宿泊をしながら魚津を中心にした観光をどう企画できるかを視察される。ぜひこの機会に魚津の農林水産物と食をアピールし、また豊かな自然を感じていただき、観光につなげていきたいと思っている。

### 2. 質疑応答での市からの説明内容

#### 「北陸新幹線開業から1年、街の変化は」

#### 《記者からの質問》

あと2週間で北陸新幹線開業から1年の節目を迎える。魚津市に新幹線駅はないが、在来線の特急列車が廃止されたことなど、交通インフラの変化に伴う街への影響をどのように感じているか。

## 《回答》

どの切り口から調査をするかということもあるが、市民の皆さんもJRの在来線が3セク会社に移行していく将来に対して不安をお持ちだったかと思う。(魚津駅の)乗降客数は、通勤通学利用ではそれなりの数があるようだが、特急列車がなくなったことの影響はよく聞いている。(黒部宇奈月温泉駅からの)おもてなしタクシーなども行い、来年度も引き続き実施する中で、新幹線駅と魚津市間のアクセスの在り方を再点検する年になるだろうと思う。

今のところ、ホテル等の宿泊はビジネス客を中心に堅調に推移しているのではないかとことであり、県も新幹線開業1年目の効果の持続を大変強調されているが、私共は(新幹線)駅のない街として今後の影響がどう出てくるのか、懸念材料がないわけでもないが、一方で海外からの旅行者の誘致などを通じて市内のいろんな産業が元気になる仕掛けを、行政としてやっていかなければならないと感じている。

## 《記者からの質問》

宿泊は堅調ということだが、飲食店への影響はどうか。

## 《回答》

若い料理人の皆さんが魚津をアピールするような新しいメニューを開発し紹介したりしているのでこれから効果も出てくるだろうと期待している。女性に人気のある商品開発などいろんな工夫もしているようで、駅前の飲食店街についてはけっこう賑わいがあるのではないかと。魚津に来られた方々に「魚津はいいぞ」と言ってもらえるようなおもてなしができれば、開拓の余地があるのでは。

(飲食店の)統計はとっていないが、聞くところによるとランチタイムのビジネス客は減っているということだ。今後どのような取り組みができるか、考えていきたい。

## 《記者からの質問》

水族館や埋没林博物館の入館者数に影響はあったのか。

## 《回答》

水族館(の入館者数)は前年比でやや減少と聞いている。埋没林博物館は、リニューアルしたものの現状維持か微減と聞いている。

魚津駅の乗降客数調査の結果、ビジネス利用が約1割減少していることが分かった。ところが、宿泊数はビジネスに限って言えば減少していないし、むしろ伸びている。いまひとつ堅調でないのは観光のほうで、そのこともありインバウンド誘客に取り組むことにした。